

平成28年度 特別推進研究 審査結果の所見

<p>研究課題名</p>	<p>地上多点ネットワーク観測による内部磁気圏の粒子・波動の変動メカニズムの研究</p>
<p>研究代表者</p>	<p>塩川 和夫</p>
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>本研究は、ジオスペース探査衛星（ERG）観測、経度方向に地球を一周するように配置する地上多点ネットワーク観測、理論シミュレーションの三者を組み合わせることで、内部磁気圏におけるプラズマ粒子加速と磁気波動変動の実態を世界で初めて把握しようとするものである。国際的に優れた実績のある応募者らによる国際共同研究の一環であり、先駆的な試みとして高く評価できる。広く活用されている人工衛星の機能障害予測を将来的に可能にする研究として、社会的にも重要であり、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。</p>